

| 教科 | 科目名 | 学年 | 単位数 | 必修 選択 |
|----|------|----|-----|-------|
| 家庭 | 家庭基礎 | 1 | 2 | 必修 |

| | |
|-------------|--|
| 到達目標 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。 |
|-------------|--|

年間スケジュール

| 期間 | 単元・項目名・実施内容など | 受講に対してのアドバイスなど | 備考 |
|-------|--|---|---|
| 1学期中間 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭基礎を学ぶにあたって 自分らしい人生をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 生涯発達の視点から、家庭科を学ぶ意義を理解し、家族や家庭生活の在り方について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した人生と、青年期の課題を考える。 |
| 1学期期末 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと共に育つ | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの育つ力を理解する。 親となった時、子どもとどう関わり育んでいくかを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の身体的、精神的特長を理解する。 |
| 2学期中間 | <ul style="list-style-type: none"> 衣生活をつくる (被服実習) 高齢社会を生きる 共に生き、共に支える | <ul style="list-style-type: none"> 衣食に関する基礎的な技術を身につけ、知識や技術の定着を図る。 高齢者の身体的、精神的特長を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> 学んだことを家庭で実践し、生活を改善する。 高齢者や、社会環境の変化による課題を考える。 |
| 2学期期末 | <ul style="list-style-type: none"> 食生活をつくる (調理実習) | <ul style="list-style-type: none"> 自立した生活を営むために必要な食の基礎的な知識を身につけ、知識や技術の定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 知識に基づいた、基礎的な技術を身につける。 |
| 学年末 | <ul style="list-style-type: none"> 住生活をつくる 経済生活を営む 生活を設計する | <ul style="list-style-type: none"> 家庭経済の現状、消費生活の課題を理解する。生涯を見通した家計管理や計画について考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会の変化に対応し主体的な消費者として選択できるようにする。 |

| | |
|---------------------|---|
| 評価方法と評価のポイント | 学期ごとの筆記テストで知識の定着、発表や実習で意欲・態度を、作品で技能・表現を評価する。グループでの協力、自己評価、プリント、課題等の提出状況も考慮する。 |
|---------------------|---|

教科からのアドバイス

教科で学んだことを家庭で予習・復習し、自分のものとする。特に被服や食物の実習は練習することで上達するので、予習・復習を心がける。日頃から生活を科学的な視点でとらえ、工夫するようにする。生活の中の課題を見つけ、充実するよう改善に取り組むこと。